

尾張旭市市民活動支援センターニュース

<Vol. 35> 2020年9月発行

はじめませんか
市民活動



いつも散歩する川沿いや公園にゴミが落ちている、と気づいたとき。

小さな子ども連れでもほっとできる居場所があったらいいな、と思ったとき。

自分のためだけでなく、周りのひとのためにも行動すれば、それは市民活動のはじまりです。



市民活動は、自発的に、社会的な役割を意識して継続的に取り組む活動です。

尾張旭市市民活動支援センターの利用登録団体、現在71団体

市民活動団体が、市民活動支援センターに利用登録していただくと、会議や打ち合わせを開催するための「ボランティア室」や「集会室」、資料作成用のコピー機・印刷機(有料)などが使用できる「印刷室」をご利用いただけます。また、市のホームページや広報、掲示板、紹介冊子などで登録団体の活動・イベントを紹介することができます。

登録できるのは、5人以上で構成され、市内で公益を目的に非営利活動をしている市民活動団体です(ただし、選挙、政治、宗教を目的に活動している団体は除きます)。

◆令和元年10月以降、新たに登録された4団体をご紹介します。

居場所カフェ～リュネット～

代表者 堀 美奈子さん
メール:lunettes2020@gmail.com
インスタグラム:cafe_lunettes2020
フェイスブック:@lunettes2020

不安や悩みを抱えながら、子育てをしている親が気軽に集まれるあたたかい雰囲気居場所です。お一人での参加も大歓迎です。

はじめ良ければ尾張旭好しの会

代表者 山田 敏雄さん
メール:owariasahi.good@gmail.com
フェイスブック:<https://fb.me/owariasahi.good>

自分たちの住んでいる尾張旭に大人も子どもにも興味を持ってもらえるよう独自の方法で伝えています。いろいろな方との繋がりを大切に活動していきます。



ちえぶら尾張旭

代表者 加藤 泉さん
電話・FAX:0561-58-7526
メール:info@ichika-bs.com
ホームページ:<https://www.chebura.com/>

ちえぶらとは、更年期を英語で言う「the change of life」の意。人生100年時代を愉しむための土台を作ります。女性の健康、更年期を正しい情報と体操でサポートします。

あさびーわくわくファミリーフェスティバル 実行委員会

代表者 橋本 紋子さん
連絡先:市民活動支援センターにお問い合わせください

尾張旭で様々な分野で活動している老若男女で市制50周年を盛り上げる！イベントをするつもりでしたがこのコロナ禍でどうなることやら！？それぞれが、今できる事をそれぞれにやっている団体です。

◆令和2年10月～12月登録団体開催イベント案内◆

NPO法人心豊かにARDの会

【申込・問い合わせ先】電話 0561-53-7373(清水)
メール michiyopoco@yahoo.co.jp

あるちゃん・かなうくんのおはなし会
&押し花あそび
絵芝居や絵本のおはなし会の後、押し花のねずみ
ちゃんをつくります。
と き 10月11日(日)10:30～12:00
ところ 多世代交流館いきいき

あるちゃん・かなうくんの何でもチャレンジ教室
ファミリーヨガにチャレンジ! &ミニ縁日
と き 10月25日(日)10:00～12:00
ところ 維摩池芝生広場

子どもゆめ基金助成活動

地域環境活性化協議会

【問い合わせ先】電話 090-4258-8677(高橋)

第15回矢田川一斉クリーン大作戦
「海を汚すな」キャンペーン
と き 10月25日(日)9:00～11:00
00 集合場所 尾張旭市営プール駐車場
第16回環境フォーラム
「経営戦略として環境対策に取り組まなければ成長を阻まれる時代に」
と き 11月22日(日)13:00～15:00
ところ 澁川福祉センターくすのきホール

森と川と海のメカニズム活動
～加速する脱プラスチック～
と き 12月中旬
ところ 澁川福祉センター研修室予定



コミュニティー・ホット・たいむ

【申込・問い合わせ先】電話 090-8475-7043(岡山)

【こども習字】参加費1ヶ月700円 年会費700円
澁川福祉センター1F会議室 日曜日

10月	4日,11日,18日	9:30～10:30
11月	1日,8日,15日	10:30～11:30 13:30～14:30
12月	6日,13日,20日	14:30～15:30

【書道+七宝焼制作】参加費700円
澁川福祉センター1F会議室

10月	25日(日)	10:00～15:00
12月	27日(日)	

【着物着付】参加費800円
澁川福祉センター2F和室

10月	28日(水)	13:00～15:00
11月	25日(水)	

【第七回多世代交流作品展】
澁川福祉センター1F会議室

11月	21日(土)	10:00～17:00
	22日(日)	9:00～16:00

瀬戸・尾張旭郷土史研究同好会

【問い合わせ先】電話 0561-87-3119(松原)

創立25周年記念 公開歴史講座 参加費無料
と き 11月23日(祝) 13:00 開場
13:30 開始
ところ 瀬戸市文化センター文化交流館 31 会議室
定員 先着50名

演題	
寺社部会	私たちが観た瀬戸のお寺とお宮
街道部会	中馬街道のエピソード =ああそうだったのか=
地名部会	尾張旭市地名の由来と変遷

NPO 法人 デジタルライフサポーターズネット

【問い合わせ先】メール info@dsapo.org(友次)
COCOA(ココア)

新型コロナウイルス接触確認アプリ講習会
「新型コロナウイルス接触確認アプリ」の説明と取り
込みを行います。*1回目2回目は同じ内容です。

と き 10月9日(金)1回目:14:00～14:45
2回目:15:00～15:45

ところ 澁川福祉センター 小会議室

定員 各回 10名(当日先着順)

参加費 無料

持ち物 ご自身のスマートフォン



ルカ子ども発達支援ルーム

【申込・問い合わせ先】電話53-8937(小野)
ホームページから申し込み

未就園児向け親子ひろば「すきっぷ」

①小麦粉ねんどで遊ぼう②自由遊びの日③クリスマス会

と き ①11月5日(木)10:00～11:30
②11月19日(木)10:00～11:30
③12月3日(木)1部9:30～10:50
2部11:00～12:20

ところ 愛知聖ルカセンター(東大道町)

定員 各回5組まで

参加費 1人100円



市民活動促進助成事業中間報告会 & 交流会 参加者募集



地域社会の発展につながる市民活動団体の活動を支援するため「市民活動促進助成事業」を実施し、本年度は1団体が助成金を受けて事業を展開しています。このたび、助成事業の中間報告会として活動の進捗などを発表していただきます。また、新型コロナウイルスの影響とこれからをテーマとした交流会を開催します。

とき 11/7(土)10:00~12:00(受付9:30~)

ところ 渋川福祉センター 3階 研修室

対象 どなたでも

申込 11/6(金)までに市民活動支援センターへ電話、メールまたは直接。

中間報告会

はじめ良ければ尾張旭好しの会
「紙芝居で伝える尾張旭の歴史」

交流会(市民活動団体連絡協議会と共催)

テーマ『新型コロナウイルスの影響とこれから』

補助金などの活用事例を参考にしながら交流会を行います。

- ①様々な助成金についての獲得体験談
 - ・心豊かにARDの会 清水美千代さん
 - ・一般社団法人あい子ども包括支援協会 遠藤浩克さん
 - ・木造住宅の耐震を考える会 光成仁志さん
- ②情報交換会

★市民活動・NPO相談の予約受付★

法人設立、組織運営、事業運営(会計税務、人材育成、広報、助成金申請・報告等)、その他NPOに関することについて、相談できます。お気軽にご利用ください。

とき	都合のよい日時(約1時間)を決めます。
相談方法	市民活動支援センターでの対面相談、電話相談、web会議システムでの相談のいずれか
対象	団体の設立・運営・会計税務に課題のある、市内の市民活動団体・個人
相談員	NPO法人 ボランティアネイバーズから派遣
申し込み	市民活動支援センターへ電話かFAXかメールにて事前予約。

【台風の接近などに伴う公共施設の臨時休館等について】

台風の接近などに伴い、暴風雨などの災害が発生するおそれがある場合に、施設の利用者の安全を確保するため、以下の基準により原則“臨時休館”します。

■対象となる施設

スカイワードあさひ、旭城、新池交流館・ふらっと、城山コミュニティセンター、ふれあい会館、東部市民センター、勤労福祉会館(渋川福祉センター)、宮浦会館、リサイクル広場、老人いこいの家、多世代交流館いきいき、児童館、市営バス、公民館、図書館、文化会館、どうだん亭、古民家、体育施設

■臨時休館等の基準

次のいずれかに該当する場合は、公共施設を臨時休館とします。

- 暴風警報・各種特別警報が発表された場合
- 市が警戒レベル3※(避難準備・高齢者等避難開始)以上を発令した場合
※ 気象庁発表の「警戒レベル相当情報」とは異なりますので、ご注意ください。
- 上記の基準に加え、次の公共施設については、それぞれの状況に応じて臨時休館等とします。

○市営バス 接続する交通事業者の運行状況などを踏まえ、運行中止とします。

○市民プール 大雨・洪水警報が発表された時点で臨時休場とします。

○地域避難所(公民館) 避難所の開設を決定した時点で臨時休館とします。

■再開館の基準

暴風警報・各種特別警報又は警戒レベル3以上が解除され、施設の安全が確認できた場合に再開館します。

【お詫び】

市民活動支援センターの「集会室」「ボランティア室」「録音室」及び「おもちゃ図書館」の空調設備が故障し、設備の回復まで期間を要する見込みです。お部屋はご利用できませんが、しばらくの間ご不便をおかけいたします。まことに申し訳ありません。





はじめてのウェブ会議

体験の感想は？

新型コロナウイルス感染防止のため、学校や職場などでウェブ会議システムの活用が一気に進みました。市民活動でもどんどん使っていたらこうと、市民活動支援センター登録団体から希望を募り、ウェブ会議講座をひらきました。講師はNPO法人デジタルライフサポーターズネットの友次さんと大岡さん。講座はチームごとに事前レクチャーを受け、アプリを設定し、各自自宅からウェブ会議チャレンジしました。



< ① 音訳グループ あげぼの会 >6/24講座開催

あげぼの会は、視覚障がい者の方へ、情報を音声に変えて届けるボランティアをしています。月4回は10人程が集まって、原稿分けをしたり、録音作業をしています。

今回はスマホを用い、10人程でLINEグループビデオ通話をすることにしました。普段からLINEを使用していたので、すぐできました。

【LINEグループビデオ通話をやってみた感想】

- ・想像していたより楽しめた。
- ・容易にできた。操作は簡単だった。
- ・6人までくらいがいい。
- ・画面に全員が映らないので、誰がお話しされているのか分からなかった。
- ・ハード環境の整備、話すテーマなど準備が大切。
- ・紙に書いて映すとか、○×カードを用意するとか工夫が必要。進行役も必要。
- ・何度もつながらなくなって参加し直した。

【どんな時に活用すると良いと感じましたか】

- ・少人数での打ち合わせなどによい。
- ・集まらない時に活用したら顔が見られて元気が出そう。
- ・離れた家族間、入院する知人などと一堂に会するのに、とても良いと感じた。ただし準備が必要。



< ② チーム尾張旭 >7/3講座開催

こちらは親子の居場所づくり、子ども自然学校、まちづくり活動などを行っている5団体8人の混合チームです。

パソコン及びスマホを用い、Zoom(ズーム)で繋がることにしました。

各自、設定に四苦八苦。先生に助けてもらい、設定ができれば、あとは簡単に会議ができました。

【Zoomをやってみた感想】

- ・アプリのインストールに時間がかかった
- ・パスワードが認識されなかった。
- ・設定さえ出来ればあとはそんなに難しくなかった。
- ・最初Zoomをダウンロードできなかったが、講師に教えてもらい「Chrome」をダウンロードしたらできた。
- ・資料を一緒に見たり、皆で書き込んだりと、いろいろな機能があると知った。
- ・パソコンでのZoomは会議や大人数で行うことにむいていて、楽しかった。
- ・参加は出来たが、主催者になる方法がわからなかった。
- ・withコロナの時代の新しい生活を支える有力なツールになると思う。ただ、最初の一步を踏み出す敷居が高いので、入門セミナーの必要性を感じる。

【どんな時に活用すると良いと感じましたか】

- ・ワークショップ ・会議
- ・飲み会 ・プチイベント
- ・短時間でも参加できるのが良い。
- ・入院中や、勉強したくても学校へ行くことが難しいお子さんが、クラスの子達と一緒に勉強したり、おしゃべりしたり。そんなやり取りもできたら良いなあと考えた。
- ・遠方の仲間たちとおしゃべりするなど、集まらなくて良いから便利。
- ・移動時間、集まる場所の確保をしなくてもよくなるので、もっと自由が利くと思った。
- ・資格や講座などに使用できたら時間のないなかでも効率的にできると思う。
- ・Zoomを使用することで、中止しなくてもできることが増えると思った。

はじめてのウェブ会議

スムーズに行うポイントは？

5つポイントをあげました。こちらを参考にチャレンジしてみてください！



【アドバイザー：NPO法人デジタルライフサポーターズネット 友次さん】

◆技術担当者を決める

団体のメンバーには、スマートフォンやパソコンが苦手な方、得意な方がいらっしゃいます。得意な方が技術担当者として、他のメンバーをサポートします。担当者という難しい印象を受けますが、他のメンバーよりも「少し分かる程度」で大丈夫です。ウェブ会議中にトラブルが起きた場合は、担当者が指示を出し、会議が途切れないようにしましょう。

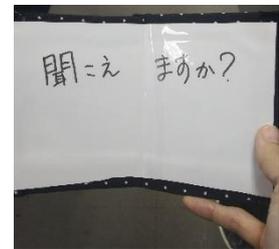
◆リアル会議を行う

ウェブ会議を行うには、アプリ(ソフトウェア)の取り込み(インストール)や利用登録(アカウントの作成)、マイクやスピーカーの調整、ウェブ会議への参加手順の確認等、事前の準備をしっかりと行う必要があります。スマートフォンやノートパソコンを持ち寄り、技術担当者を中心にリアル会議を行い、メンバー同士でリハーサルをしましょう。



◆小型のホワイトボードを用意する

ウェブ会議の環境(通信速度やマイクやスピーカーの性能)により、音声が聞こえない、遅延する、聞き取りづらいといったトラブルが生じます。そのような場合は、文字で伝えられるように小型のホワイトボードを利用するとよいでしょう。また、リアルな会議と同様に進行役を事前に決め、進行役が話す相手を指名し、その後話し始めるとスムーズに会議が進みます。



◆サテライト会場を作る

サテライト会場方式とは、ウェブ会議が行える場所に何名かが集まりそこから参加する方式です。スマートフォンやパソコンが苦手、または利用していない等、ウェブ会議に参加ができない場合は、サテライト会場方式を利用するとよいでしょう。



◆LINEのグループビデオ通話からスタート

コミュニケーションアプリ「LINE」にグループビデオ通話機能があります。機能は少ないですが、LINEを日ごろから利用している方でしたら、初めてでも戸惑うことはないでしょう。会議をするだけでなく、ご家族やご友人との楽しい会話に利用し普段から「ビデオ通話」に慣れ親しみましょう。



SNSを通じNPOのデジタル活用に役立つ情報を提供しております。ぜひご登録ください。

以下キーワードで検索

- ・LINE【LINEデジサポ】・twitter【twitterデジサポ】・Facebook【Facebookデジサポ】
- ・YouTube【YouTubeデジサポ】



ウェブ会議を活動に取り入れたいが、うまくいなくて困っている

尾張旭の市民活動団体は、市民活動支援センターまでご相談ください。

◆助成金情報◆

秋の助成金申請がピークを迎えています。下記以外にも市民活動支援センターに最新の募集要項があります。また市ホームページに助成金情報を掲載していますのでご活用ください。【ホーム>暮らしのガイド>教育・文化・スポーツ・市民活動>市民活動・ボランティア>助成金情報】(10/1に更新予定です。)

助成名	申請期間	概要																
<p>【独立行政法人 国立青少年教育振興機構】</p> <p>子どもゆめ基金 一次募集</p> <p>問い合わせ先: 子どもゆめ基金部助成課 〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1 電話:0120-579081 メール:yume@niye.go.jp</p>	<p>受付 10/1(木)~</p> <p>期限 郵送 11/10(火) 電子申請 11/24(火) 17時締切</p>	<p>【助成の対象となる活動】</p> <p>子どもの健全な育成を図ることを目的に、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに終了する次の活動。助成の対象となる分野は7つ、種類は4つ。</p> <table border="0"> <tr> <td>活動の分野</td> <td>活動の種類</td> </tr> <tr> <td>①自然体験活動</td> <td>①子供を対象とする活動</td> </tr> <tr> <td>②科学体験活動</td> <td>②経済的な困難な状況にある子どもを対象とする活動</td> </tr> <tr> <td>③交流を目的とする活動</td> <td>③フォーラム等普及活動</td> </tr> <tr> <td>④社会奉仕体験活動</td> <td>④指導者養成</td> </tr> <tr> <td>⑤職場体験活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥総合・その他の体験活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦読書活動</td> <td></td> </tr> </table> <p>※令和元年度採択件数4,491件、交付決定額16億6002万6000円</p>	活動の分野	活動の種類	①自然体験活動	①子供を対象とする活動	②科学体験活動	②経済的な困難な状況にある子どもを対象とする活動	③交流を目的とする活動	③フォーラム等普及活動	④社会奉仕体験活動	④指導者養成	⑤職場体験活動		⑥総合・その他の体験活動		⑦読書活動	
活動の分野	活動の種類																	
①自然体験活動	①子供を対象とする活動																	
②科学体験活動	②経済的な困難な状況にある子どもを対象とする活動																	
③交流を目的とする活動	③フォーラム等普及活動																	
④社会奉仕体験活動	④指導者養成																	
⑤職場体験活動																		
⑥総合・その他の体験活動																		
⑦読書活動																		
<p>【一般財団法人 セブン-イレブン記念財団】</p> <p>環境市民活動助成</p> <p>問い合わせ先: セブン-イレブン記念財団 〒102-8455東京都千代田区二番町8番地8 電話:03-6238-3872 メール: oubo.21@7midori.org</p>	<p>応募期間</p> <p>①花と緑の助成 ②清掃助成 10/1(木)~ 10/21(水)</p> <p>③活動助成 ④NPO基盤強化助成 10/26(月) ~11/16(月)</p>	<p>【助成の対象となる活動と助成金額】</p> <p>①花と緑の助成…公共性の高い場所で行われる低木の苗木、草花の種、苗、球根を植え育てる活動 1団体あたり上限50万円</p> <p>②清掃助成…公共性の高い場所で、年間を通じて定期的に行われている清掃活動 1団体あたり上限30万円</p> <p>③活動助成…自然環境保護など、市民が主体となって行う環境活動の活動資金を1年間支援します。1団体あたり上限100万円</p> <p>④NPO基盤強化助成…安定的に活動を継続できる自主事業の構築確立をめざすNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所家賃を原則3年間支援します。1団体あたり上限400万円(3年間1200万円)</p> <p>※2020年度助成実績269件、1億1106万3824円</p>																



「あさびー! マスク届け隊」に

ご協力ありがとうございました



尾張旭市市民活動団体連絡協議会と尾張旭市社会福祉協議会が共催で、5月18日から6月30日までの間、市内の公共施設に回収ボックスを設置し、新型コロナウイルス感染防止のためのマスクや消毒液などを募集しましたところ、たくさんのかたがたにご協力いただき、マスク4,023枚、消毒液26本、フェイスシールド100枚、食事用エプロン50枚が集まりました。ご寄付いただきました物資は尾張旭市内で子ども・高齢者・障がい者を対象にふれあい活動や見守り活動、配食ボランティア、子ども食堂、学習支援などを実施している市民活動団体・ボランティア団体にお届けしました。

尾張旭市市民活動支援センター

〒488-0839 尾張旭市渋川町三丁目5番地7

渋川福祉センター1階

電話 0561-51-2878

ファックス 0561-51-2879

E-mail katudoushien@city.owariasahi.lg.jp

すくすくのびのび
尾張旭市

